

協働通信

今回は、空き店舗を活用して私設の図書館「つるまち図書室」を開設している、都留文科大学の大好き女子学生3人取材しました。



■つるまち図書室を開設している、石丸なつみさん(左)、佐々木里菜さん(中央)、小林未祐さん(右)

◆「つるまち図書室」開設の経緯を教えてください

3人とも本好きが高じて、増え続ける本の置き場所に困っていました。そこで、共同書庫となるような物件を都留市が運営している「空き家バンク」で探していたところ、今の物件にたどり着きました。当初は書庫の予定でしたが、本を買う

にもお金がかかるので、色々な方と本の貸し借りができたら素敵だと考え、図書室として開放することにしました。

◆「つるまち図書室」の本について

図書室に置いてある本は、私たちの私物と、友人や地域の方から貸してもらったり譲り受けたものです。室内で本を読むだけでなく、本の貸し出しも行なっています。その場合は、自分が借りる本の代わりに、自分のお気に入りの本を図書室に貸し出します。こうすることで、本の借りっぱなしを防げると、図書室の本を一定数保つことができます。

この図書室は、私たちの本とみなさんの本を貸し借りすることで大切な本たちが様々な人のもとへ巡っていけばいいなという想いで運営しています。なので、いらなくなった本を皆さんから集めて貸し出すものではありません。

◆地域の方の反応はどうですか

地域の方もふらっと立ち寄ってくれます。本を借りるついでに世間話をされていく方もいれば、本を借りるためだけに来られる方もいたり、利用の仕方は人それぞれですね。それから、谷村第一小学校が近いのでよく子どもたちが帰りに立ち寄っていき

▽都留市まちづくり
市民活動支援
センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり
交流センター
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.
tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

ます。学校生活のことについて教えてくれたり、授業で作ったものをくれたりすることもあります。この前は、手作りのしおりをもらいました。

◆今後について

常連さんを増やしたいですね。それから、この図書室は日常の延長だと思っているので、わざわざ新しい場所を作ったというよりは、私たちの生活空間の一部を地域に開いているという感覚なんです。なので、このまま無理のない範囲で続けていけたらいいなと思っています。



■入り口にある手書きのウェルカムボードが目を引きま

つるまち図書室の開館日などについての

問合せ先 代表者 小林

☎080(4215)2008

Eメール 17213035@edu.tsuru.ac.jp

※開館日などの最新情報は、Facebook(フェイスブック)やTwitter(ツイッター)でもお知らせしています。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば室内レクリエーション

楽しいレクリエーションで心も体もリフレッシュ!

日時 1月28日(木)

13時30分～15時30分

場所 まちづくり交流センター

1階交流室和室

問合せ先 まちづくり交流センター



■つるまち図書室のしおり。右のものは、図書室に通う小学生がくれたそうです。



■室内には様々な種類の本が置かれています。